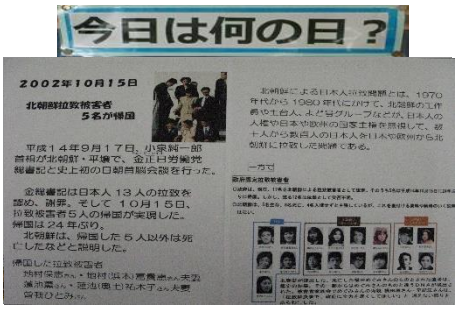
進路だより
78th PRIDE
松戸市立第三中学校
令和８年１０月１５日　No.39

今日は何の日？



学年の廊下掲示物として、写真の「今日は何の日」を掲示しています。社会科に関する「ネタ」を中心に毎日更新中です。ちなみに本日１６日は、「２００２年１０月１５日　北朝鮮拉致被害者５名 帰国の日」です。歴史の教科書の現代史でも取りあげられていた記事なので、７８期生の皆さんも知っているのではないでしょうか。

さて、進路学習会で繰り返し、「**１０月１５日以降！**」と伝えたことを覚えているでしょうか？本日１５日は**『令和９年度公立高校 本検査入学者選抜における選抜・評価方法』**の公表日です。第１回進路学習会資料Ｐ２１に、市立松戸高校の昨年度の選抜評価方法を掲載しましたが、以下に本日発表されたばかりの同校の選抜・評価方法を掲載します。比較してみてください。今日以降、順次公開することになっていますので、**必ず希望校のものをＨＰ等で確認してください。**この発表をもとに各高校では１０月末～１１月に学校説明会が開催されます。１７日（土）以降に開催される説明会では、**最新の情報が公表されます**ので、今後開催される説明会には必ず足を運びたいものです。夏の説明より具体的なことを教えてくれるはずです。

令和９年度　一般入学者選抜の選抜・評価方法

学校番号　市５
松戸市立松戸高等学校　全日制の課程　普通科

１　期待する生徒像

人物、学業ともに優れており、次のア又はイのいずれかに該当する生徒
ア　特別活動等や資格取得に実績を有し、目標や志を持って、意欲的に高校生活を送れること。
イ　スポーツ、芸術活動等に意欲的に取り組み、本校入学後も積極的に活動を継続し、学習との両立を図りながらさらに技能を向上させる意志があること。

２　選抜の資料

(1)学力検査	５教科の学力検査の得点
(2)調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3)学校設定検査（自己表現）	次のア、イのいずれかを、出願時に志願者が選択 ア　実技による自己表現 実施形態：個人で発表（ただし、団体種目は、複数人数で実施） 次の実技のうち１つを選択 男子のみの種目：野球・ラグビー・ハンドボール 女子のみの種目：ソフトボール 男女の種目：サッカー・陸上競技・硬式テニス・弓道・柔道・剣道・バレーボール・バスケットボール・バドミントン・卓球・吹奏楽・合唱・美術 検査時間：５分～５０分（種目により異なる） イ　口頭による自己表現 実施形態：個人で発表 与えられたテーマについて、口頭（日本語）による自己表現を行う。 検査室への道具の持ち込みは一切認めない。 検査時間：２分以内

実技の種目　変更なし

①出欠　②行動の○　③総合所見での　加点・減点が　昨年度から　なくなった

３　評価項目及び評価基準

(1)学力検査〔５００点満点〕

評価項目	評価基準
５教科の得点合計	５教科（各教科１００点満点）の合計５００点満点で評価する。

(2)調査書〔１７０点満点〕

アの数値に、イについて加点（上限３５点）したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア　教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値にＫ＝１を乗じた数値で評価する。 評定１又は未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ　特別活動の記録 部活動等の記録 特記事項	学級活動、生徒会活動、学校行事、部活動及びその他の活動で特に積極的に取り組んだと認められる記述については加点する。 「特記事項」に英語検定、漢字検定、数学検定各３級以上の記述があった場合は加点する。

(3) 学校設定検査（自己表現）〔４０点満点〕

次のア、イについて、それぞれ２名の評価者が、２つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、ａ（優れている）・ｂ（標準的である）・ｃ（やや問題がある）・ｄ（問題がある）の４段階で評価する。２名の評価者による、評価項目ごとの評価の組合せ（ａａ～ｄｄ）で得点化する。

ア　実技による自己表現

評価項目	評価基準
(ア) 意欲・態度	当該種目に積極的・意欲的に取り組んでいる。 当該種目の技能を向上させようとする意志がある。
(イ) 表現内容	当該種目における基礎的及び専門的技能を身に付けている。

イ　口頭による自己表現

評価項目	評価基準
(ア) 意欲・態度	発表に積極的・意欲的に取り組んでいる。 入学後の生活に対する目標や意識が明確であり、意欲的に高校生活を送る意志がある。
(イ) 表現内容	発表内容がテーマに即しており、まとまりや説得力がある。 表現力豊かに、分かりやすく発表を行うことができる。

４　選抜方法

(1) 市内中学生優先入学制度

令和９年度松戸市立松戸高等学校第１年次入学者選抜要項において、「普通科においては募集定員の一部について、志願者及び保護者が松戸市内に居住し、松戸市立中学校を令和９年３月卒業見込みの者を優先とする。」としている。そのため、市内中学生を、普通科募集定員全体の４０％程度まで確保するようにしている。

(2) 選抜の方法

ア　「学力検査の得点」、「調査書の得点」及び「学校設定検査（自己表現）の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、次のパーセントまでを入学許可候補者とする。

(ア) 受検者数が募集人員以内のときは、受検者数の６０パーセント程度

(イ) 受検者数が募集人員を超えるときは、募集人員の６０パーセント程度

検査総合計点の変更なし

＜ア：総得点の満点の内訳＞

学力検査の得点	調査書の得点		学校設定検査の得点	総得点
	評定（Ｋ＝１）	加点	自己表現	
５００点	１３５点	３５点	４０点	７１０点

イ　上記アで決まらなかった者については、「学力検査の得点」、「調査書の得点」及び「学校設定検査（自己表現）の得点」に本校の定める係数（k1＝１、k2＝１、k3＝５、k4＝１）を乗じて算出した得点を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、原則として、募集人員までを入学許可候補者とする。

＜イ：総得点の満点の内訳＞

学力検査の得点	調査書の得点		学校設定検査の得点	総得点
(k4＝１)	評定(k1＝１)	加点(k2＝１)	自己表現(k3=５)	
５００点	１３５点	３５点	２００点	８７０点

※ k1：アの「調査書の各教科の評定の全学年の合計値にＫを乗じた数値」に乗じる係数

※ k2：アの「調査書の記載事項の加点」に乗じる係数

※ k3：アの「学校設定検査の得点」に乗じる係数

※ k4：アの「学力検査の得点」に乗じる係数

２段階選抜での総合計点の変更もなし

(3) その他

入学許可候補者とした者のうち、隣接県公立高等学校入学志願者取扱協定による入学許可候補者数が、細部協定書の示す制限比率を超えていないことを確認する。

「自己申告書の内容を選抜資料に加える」の文言が昨年度からカットされた。（自己申告書は選抜資料に加えない）

５　その他

過年度卒業者については、別途、個人面談を行う

㊟　**２日目に「実技」で受検したいと考えている人は「種目の有無」を必ず確認**してください。

㊟　**「実技」で受検する場合、高校入学後もその種目を部活動で続けることが前提**なので、実技にするかスピーチや作文等にするかをよく考えて決めてください。

㊟　二者面談や三者面談で「**２日目は何で受ける？**」と聞きますので答えられるようにすること。